

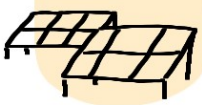
第11回大谷・小鹿地区まちづくり検討会議

Recorded by マスグアヤカ

令和6年度のソフト施策の取組み報告

スタートアップ事業

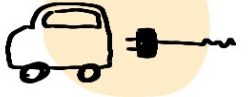
現状
ソーラーパネルを増やしています!



課題
昼間に余剰電力



対策
バッテリーステーションのエネルギーに活用!



エネギ
静岡ガス
金井さん

キーパーソンと出会い直す

① 大学生が地域の人のインタビュー

② 公開作戦会議

③ 大学生が公民間でずさず

このまちには **キーパーソン** がたくさんいらっしゃる!

コミュニティ
静岡大学
天野先生

青大学長も理事もこのまちづくり会議も知らなかったときいてびっくり...

これから大学はキャンパスのある地域と連携すべき。今後つながって協力していくことであれば...

ウェルネス **同遊コース**も提案しました

コース → 如果決定

体カ現決定
スポーツイベント

杉山研究

まちを歩く、まちで運動することで

健康増進

まちの変化を知ることができる

ヒアリングについて

業務内容をききながら防災・地域とのコミュニティづくりの意向や方針をヒアリングしました!

Coopさん

組合員に向けた感謝祭イベントを開催しています。地域イベントにも同様に協力していきたいです。

セブティ

清和エンバイロメント

パックジはんの製造工場をつります。災害時は地域の皆さんへの提供を考えています。

令和7年度より新体制 //

大谷小鹿周辺地区まちづくり未来会議

旧 大谷・小鹿地区
まちづくり検討会議

ビジョン策定

新 新たな活動・つながりの誘発

メンバーは流動的につながり、まきこんでいます

エリアプラットフォームとしての下地づくり

「自分たちでまちをつくる」の「自分たち」とは?

これまで 都市計画 = ハード

これから **コミュニティ = ソフト**

とこそ... **住民** って誰?

住んでいる人々

下宿の大学生

子どもたち

援助が必要な人々

と従来想定している「住民」だけでは成り立たない

自治も広げる

外国人 事業者 学校 大学生 観光客

維持できる "人がひとだけ集まるかもポイント"

リビングラボホストの考えをもつて、地域で良いものを試行していくことが大切

田中先生

地域のコミュニティの受け入れ側、参入側をつなげる橋渡し役がとても重要

田邊先生

運動、防災を通してまちづくりの視点もぜひ持ってほしい

遠藤先生

こうき会議において「顔の見える関係」ができたことが大きい

大学は商店街のようなもの、研究室 = お店と関わっていると促す方がいいと。大学の上層は市役所が連携を

未来会議において「大谷・小鹿」はどこを指すのか再定義できると◎

ビジョンとの照らし合わせもしよう

金森先生

まちづくりにおいて「ハード」はとても大切。ハードに沿ったソフトの整備、試行していくと良いと思う。**全体最適**を目指しよう